



1月10日 第24回八代子ども科学フェア 親子でワクワクの学び体験



第24回八代子ども科学フェアが桜十字ホールやつしろなどで開催され、多くの子もたちが科学の面白さを見て、触れて、感じました。

高校や大学、企業などがものづくりや職業体験などのブースを設け、参加者はロボットのプログラミング体験や木工体験などを楽しみました。

100歳おめでとうございます

村本 チカ子さん(坂本町) 大正9年7月生まれ



100歳になった今でも新聞を読んでいるチカ子さん。5年前まで家の庭でシャクヤクやチューリップ、菊を育てるなどガーデニングを楽しんでいました。今の楽しみはひ孫とパズルなどで一緒に遊ぶことです。長寿の秘訣は「塗り絵や手芸など手や頭を使うこと」。

1月6日 香港向け晩白柚の見送り 八代の特産を香港へ



J Aやつしろ八代果実選果場で八代港から香港へ向けて輸出するバンペイユをトラックへ積み込み、関係者らがトラックを見送りました。

今回出荷されたバンペイユは、イオンストアーズ香港12店舗で開催される晩白柚フェア(2月11日まで)で販売されます。

1月13日 障がい者サポート企業へ認定証交付 エイジスと小林電工が初の認定



株式会社エイジスと有限会社小林電工を初めて八代市障がい者サポート企業に認定しました。本市では障がいのある人の暮らしや就労を応援する企業や団体を「障がい者サポート企業・団体」として認定しており、両社は企業のスキルなどを生かし、障がいのある人の支援に取り組んでいきます。

12月17日 食農教育誌「ちゃぐりん」の贈呈 子どもたちに農業を知ってほしい



八代地域農業協同組合の山住昭二代表理事組合長らが市役所千丁支所を訪れ、北岡博教育長に食農教育誌「ちゃぐりん」を贈呈しました。

同誌は小学生向けの「食」と「農」に関する情報誌で、市内24市立小学校へ毎月1冊ずつ、令和2年9月号から8カ月間分が寄贈されます。

12月22日 自治会等地縁による総務大臣表彰 安全安心な地域づくりに貢献



良好な地域社会の維持及び形成などに貢献した徳田武治さん(金剛校区)、早瀬洋志さん(高田校区)へ総務大臣からの表彰状伝達式が行われました。

徳田さんは平成6年から、早瀬さんは平成16年から校区長や市政協力員などを務め、地域のリーダーとして、現在も市の発展に貢献されています。

12月14日 株式会社アチーブメントとの立地協定 オフィス系企業の進出



損害保険調査業などを行う株式会社アチーブメントが本市と事業所新設に向けた立地協定を締結し、調印式が県庁で行われました。

同社は損害保険のコールセンターとして子会社株式会社アチーブエイムを新設し、7月の事業所開設と50人の新規雇用を予定しています。

12月21日 オシゴト図鑑発刊 未来の「オシゴト」を探す道しるべに



持続可能なやつしろ実行委員会は地元企業を紹介した冊子「オシゴト図鑑」を発刊しました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大で就職活動が制限される中、働く意義や目的を考えるきっかけになればと制作され、八代市、氷川町、芦北町などの高校17校の1、2年生約3,500人に贈られました。

義援金・寄付金をありがとうございます

令和2年7月豪雨災害の支援に義援金・寄付金をいただきました皆様にも多大なる感謝を申し上げます。この他にも多くの皆様からいただきました義援金・寄付金は、一刻も早い復旧、復興に向け有効に活用させていただきます。(1月15日現在)



熊本県民主医療機関連合会



日本自治体労働組合総連合



南九州税理士会

1月6日 ガンバ大阪・一美和成選手が表敬訪問 今シーズンの活躍を誓う



本市出身でサッカーJリーグで活躍する一美和成選手が、中村博生市長に昨シーズンの報告と今シーズンに向けての決意表明を行いました。

オリンピック出場とシーズン2桁ゴールを目標に掲げ「サッカーができることに感謝し、八代を盛り上げられるよう活躍したい」と意気込みました。

12月23日 ロアッソ熊本入団会見 プロサッカーの世界でさらなる活躍に期待



秀岳館高校のケンタ選手とターレス選手がロアッソ熊本に入団が内定し、記者会見を行いました。同校の中川静也校長は「被災地へのボランティア活動にも率先して参加するなど素晴らしい人間性を持った青年なので、今後の活躍に期待している」とエールを送りました。